袋都祁中学校区



めざす子ども像 ふるさとでの学びを誇りに たくましく未来を切り拓く 都祁の子

▶都祁中学校区 地域教育協議会

地域・子ども の現状

校区は古くからの農山村の集落と新興住宅が混在している。地域の人々の学校 に対する期待や関心は極めて高い。4小学校の統合再編から3年、新都祁小と して今までの4小学校それぞれの取り組みを生かしながら、小学校教育の再編 成も進んできた。それに伴い、地理的に園・小・中が近くなったことのメリッ トを生かすべく連携した取り組みの推進もその途上にある。協議会の取り組み が進んでいく中で、地域の方々と学校園との交流が盛んになりつつある。

伸ばしたい 子どもの 具体的な力

○たくましく未来を切り拓いていくための力(学力・体力・コミュニケーショ ン能力)

- ○郷土都祁を誇りと思えるような豊かな感性
- ○自分に関わってくれるさまざまな人々への感謝の心
- ○自分の存在がまわりに役に立ち、受け入れられているという自己有用感

取組内容

地域主催事業に積極的に子どもたちが参加できるような仕組みづ くりを進め、地域教育協議会がサポートをし取り組んでいく。 子どもたちの力を伸ばすための事業への地域・保護者・各種団体 の参画の呼びかけを地域教育協議会がサポートしていく。



▶都祁中学校 運営委員会

学校園・子ども の現状

都祁中学校は、奈良市の南東部大和高原に位置し、人口の割に地域面積が広 く、片道1時間かけて自転車通学する生徒もいる。旧都祁村で唯一の中学校 だったこともあり、地域を上げて中学校の諸行事に協力・理解を得られる。生 徒は素直で地道に努力できる者が多い。ただ、三世代の家庭が多く、過保護な面も見られ、コミュニケーション能力やチャレンジする気概の面に課題があ る。また、少子化の影響で生徒数が減少し、教員数の減少と1クラスの生徒数の 増加で、きめ細かな指導が難しくなってきたため、全体として低学力傾向にあ る。

伸ばしたい 子どもの 具体的な力

○たくましく未来を切り拓いていくための力(学力・体力・コミュニケーショ ン能力)

- ○郷土都祁を誇りと思えるような豊かな感性
- ○自分に関わってくれるさまざまな人々への感謝の心
- ○自分の存在がまわりに役に立ち、受け入れられているという自己有用感

取組内容

全ての事業において、地域住民との交流を通してコミュニケー ション能力の向上を目指す。「学習支援事業」では、授業への入 り込みなどで生徒の学習を支援してもらう機会としたい。また、 都祁高原マラソンをはじめとする地域行事への参画を通してふる さとを誇りと思える感性や自己有用感の醸成を目指す。



▶都祁小学校	運営委員会
学校園・子ども の現状	開校以来、それぞれの地区や学校で行われてきた特色ある教育活動をもとにし、新しい学校としての校風作りや人間関係作りに取り組んできた。特に、6年間を系統立てた生活科、総合「なら」科の学習を進めるに当たり、カリキュラムマネジメントを行い、今までの学習をより良い学びの場として構築してきたことにより、地域の行事に参加していますか(学校アンケート2019)では、全国の平均(全国学力状況調査2019)を10%以上上回る結果となっている。
伸ばしたい 子どもの 具体的な力	地域や地域の人から学ぶ学習『探究心・好奇心にあふれた学びの場:キャリア教育の活性化』を通して、自分たちが住む郷の持続可能な社会の実現に向けて、SDGsの視点を意識し、自分たちに何が出来るのかを考えられる力。
取組内容	○校舎内外の環境を整えるための環境整備事業 ○野菜(さつまいも・へちま)作り等の学習支援事業 ○すずらん・水源地・蚕等、ふるさとを知る学び ○心身の健康な成長・伸長(読み聞かせ・体育学習補助:感覚統合トレーニング)

▶都祁こども園 運営委員会 本園は、幼保連携型認定こども園である為、園児一人一人の在園時間や在園期 間が異なる。その中でも長時間、園で過ごす園児が7割在園する。都祁校区 (並松・都祁・吐山・六郷)、田原校区と広範囲から通園し、経験の違いや 学校園・子ども 様々な家庭環境で育つ子ども達がいる。地域の方々がかかわってくださること の現状 で、多様な経験ができ、地域の方とのふれあいの中で地域に親しみを感じたり する気持ちが育ってきつつある。 伸ばしたい 健康な心と体をつくる力 子どもの ・心豊かに友達と育ちあう力 具体的な力 ・ 自ら考え 考動する力 ・地域の方との活動や地域行事への参加などの交流を通してつな。 がりを深める。 ・茶道、剣道、生け花などの日本の伝統文化を経験したり学んだ 取組内容 りし、豊かな心を育む。 ・菜園活動で、野菜を育てたり成長を見たり食べたりして、食へ の興味や関心を育む。